

びわこアメニティー バリアフリー 映画祭2017

2017年2月10日(金)～12日(日)
びわこ大津プリンスホテル
本館2F「比叡」
映画祭のみ：
映画祭協力券(1プログラム)・500円

今年の映画祭では、これまでのバリアフリー字幕及び音声ガイド付きの作品上映だけでなく、新しく開発された映画鑑賞支援技術(UDCast)対応の作品を中心に上映します。日本貿易振興機構(ジェトロ)の「オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査」に係る試行プロジェクトにおける、「世界をリードする、日本の映画鑑賞用最新バリアフリー技術を活かした、多言語対応「おもてなし」プロジェクト」と連携し、聴覚障害者はメガネ型端末にバリアフリー字幕を表示して映画鑑賞し、また、視覚障害者は手持ちのiPhoneなど個人々の端末を使って音声ガイドを聴くという方法で映画を鑑賞します。これまで、私たちが目指してきた「バリアフリー映画をスタンダードに」という目標がいよいよ実現に近づきます。皆さま、ぜひ体験してみてください。

上映作品

*上映作品にはバリアフリー字幕及び音声ガイドがついています。
*プログラムは変更になる場合があります。その際はどうぞご了承ください。

10日(金)
12:00 開場

13:00～14:40 くまのアーネストおじさんとセレスティヌ

FM受信



2012年/フランス/80分

ベルギーの絵本作家ガブリエル・バンサン代表作「くまのアーネストおじさん」シリーズを映画化したフランス製長編アニメーション。大きくて無愛想なクマのアーネストおじさんと、小さなネズミのセレスティヌが織りなす温かな友情を描く。腹ペコでゴミ箱をあさっていたアーネストおじさんは、ネズミのセレスティヌを飲み込みそうになる。セレスティヌは「私を食べなければ、かわりにあなたが世界で一番おいしいものをあげる」と提案し、食べられることを免れる。この出会いをきっかけに、アーネストとセレスティヌの間には不思議な友情が芽生えていく。

15:30～17:20 だれかの木琴

UDCast



2016年/日本/112分

夫と娘と郊外に引っ越したごく普通の主婦の小夜子は、新しく見つけた美容院で少し髪を切る。海斗と名乗った若い美容師からその日のうちに営業メールが届き、それに返信したことから小夜子の日常は一変する。自分でも訳がわからない衝動にかられ、何度もメールを送っては頻りに店を訪れ海斗を指名する小夜子。海斗へのストーカー行為がエスカレートするほどに、小夜子は生き生きと輝き美しくなっていく。やがて、家族や海斗の恋人を巻き込んで、2人がたどり着いた思わぬ結末とは・・・?

20:00～21:50 オーバーフェンス



2016年/日本/112分

原作者・佐藤泰志が職業訓練校に通った自身の体験を交えてつづった小説をもとに、それぞれ苦悩を抱える孤独な男女が共に生きていこうとする姿を描き出す。妻に限られて故郷・函館に戻った白岩は、職業訓練校に通いながら失業保険で生計を立て、訓練校とアパートを往復するだけの淡々とした毎日を送っていた。そんなある日、同じ訓練校に通う代島にキャバクラへ連れて行かれた白岩は、鳥の動きを真似する風変わりなホステス・聡と出会い、どこか危うさを抱える彼女に強く惹かれていく。

22:30～24:04 奇跡のひと マリーとマルグリット



2014年/フランス/94分

三重苦で生まれた女性と彼女を教育したシスターを描いたヒューマンドラマ。19世紀末のフランスの実話がベース。聴覚障害の少女たちが暮らす修道院にやってきた少女マリー。生まれつき目も耳も不自由で、一切教育を受けずに育った彼女は野生児のように獐狂で誰にも心を開こうとしなかった。不治の病を抱えた修道女マルグリットは、残された人生をかけてマリーの教育を担当する。マルグリットの献身的な教育の末、マリーは本来の人間性を取り戻し、言葉を知る日がやってくる。

11日(土)
9:00 開場

9:30～11:30 鳥々清しや



2016年/日本/99分

沖縄・慶良間諸島を舞台に、音楽によって結ばれる人と人の絆を描いた物語。耳が良すぎるために少しの音のズレも気になり、そのせいで変わり者扱いされている少女うみは、コンサートのために東京から沖縄へやってきたバイオリニストの祐子と出会う。それをきっかけにうみは吹奏楽部に参加し、周囲との関係がうまくいかないがために頑なに閉ざしていた自分自身を、少しずつ解放していく。

12:30～13:10 風のように



2016年/日本/40分

「あしたのジョー」などで知られるちばてつやが1969年に発表し、自然と人間の共生を提起した短編マンガをアニメ映画化。花を求め、日本中を旅してまわっていた養蜂家一家のトラックが谷底に転落した。両親は亡くなり、息子の三平だけが奇跡的に生き残った。三平は蜂に刺されて倒れていた少女チヨと出会い、彼女の住む村で暮らすこととなる。家族のいなくなった自分を住まわせてくれたお礼として、三平は村人を手づかきした荒地をたたく1人で開墾し、村人たちを驚かせた。しかし、ある日、村に飛来した蜂の大群とともに三平はこつ然と姿を消す。

14:00～15:26 あなた、その川を渡らないで



2014年/韓国/86分

結婚76年目の老夫婦の純愛を描き、韓国で大ヒットを記録したドキュメンタリー作品。98歳のチョ・ビョンマンと89歳のカン・ゲヨル夫婦。子どももすでに独立し、結婚76年目を迎えた老夫婦は、毎日おそろいの服に身を包み、恋人同士のように手をつないで歩くなど、川のほとりで仲つつまじく暮らしている。しかし、2人は愛にあふれた現在の生活に満足しながらも、老いから来るそれぞれの身体の異変に心を痛めていた。ある日、妻は夫の咳を聞きながら「天国でも着られるように」と夫の服をたき火にくべる。

16:30～18:10 盲ろうを生きる～見えない 聞こえないということ～(仮)

監督：西原孝至 プロデューサー：小町谷健彦 2017年/日本/80分(予定) 西原孝至監督トークあり

目が見えない、耳が聞こえない盲ろう者は、現在日本におよそ15,000人いると推定されている。中には、「1日は24時間ではなく、40時間でも50時間にも思えるくらい毎日なのです」と語る人がいる。また「見えない、聞こえない」という状況が「宇宙の真中にたった一人取り残された」感覚と話す盲ろう者もいる。この映画はその孤独と向き合いながら、介助者を通して社会の協同性を求める盲ろう者の記録である。

18:10～19:30 西原孝至監督、小町谷健彦プロデューサーを迎えて、完成前の編集版を鑑賞後、映画の内容について観客とのディスカッションを予定しています。

20:20～22:00 ザ・レイブ

上映後に東陽一監督のトークあり



1982年/日本/100分

レイブされた女性加害者を告訴したことによって逆に苦境に立たされたながらも、強靱な意志で生きていく姿を描く。一度だけ訪れた中古車店のセールスマンに性的暴力を受けた路子。恋人の心無い一言に闘う決意をする。最終報告が近づくにつれて、一部始終を傍聴していた植田との間に、決定的な亀裂が走っていた。「懲役4年」路子は第一審に勝った。しかし、衆人の好奇の目にさらされ、精神的にも肉体的にもずたずたにされた路子が失ったものは、あまりにも大きかった。

12日(日)
10:00 開場

11:00～12:52 だれかの木琴

上映前に東陽一監督の挨拶あり



2016年/日本/112分

夫と娘と郊外に引っ越したごく普通の主婦の小夜子は、新しく見つけた美容院で少し髪を切る。海斗と名乗った若い美容師からその日のうちに営業メールが届き、それに返信したことから小夜子の日常は一変する。自分でも訳がわからない衝動にかられ、何度もメールを送っては頻りに店を訪れ海斗を指名する小夜子。海斗へのストーカー行為がエスカレートするほどに、小夜子は生き生きと輝き美しくなっていく。やがて、家族や海斗の恋人を巻き込んで、2人がたどり着いた思わぬ結末とは・・・?

14:00～17:00 *上映終了後、障害がある人へのヒヤリング及びアンケート調査を実施します。

2月10日(金) 16:20～17:45

コンベンション淡海10

パフォーマンスイベント

SPARKLING DANCE THEATER

3つのダンスカンパニーによるスパークリング・ダンス・シアター
障害のあるダンサーとアーティストらが表現手法の異なる3つのダンスを発表

出演

手話ダンス：YOU&I

車椅子ダンス：ジェネシス・オブ・エンターテイメント

コンテンポラリーダンス：湖南ダンスワークショップカンパニー

【プロデューサー：北村成美(振付家・ダンサー)、ゲストミュージシャン：吉田隆一(SAX)、竹田裕美子(アコーディオン)】

ジェネシス・オブ・エンターテイメント



湖南ダンスワークショップカンパニー

